# 嘘つきの論理学

命題論理入門

### USO島

- USO島の住民:
  - 善人か悪人
  - 見かけでは判別できない
  - 善人は常に真実を言い、悪人は常に嘘をつく

# 問題1.1

• 私がUSO島で住民 A,B,C に遭遇



あなたは善人? それとも悪人?



A



B



C



**※△☆%、、、** 



A



В



C



A は「自分は悪人だ」 と言ったのよ







B



 $\mathsf{C}$ 



騙されるな! B は嘘つきだ!







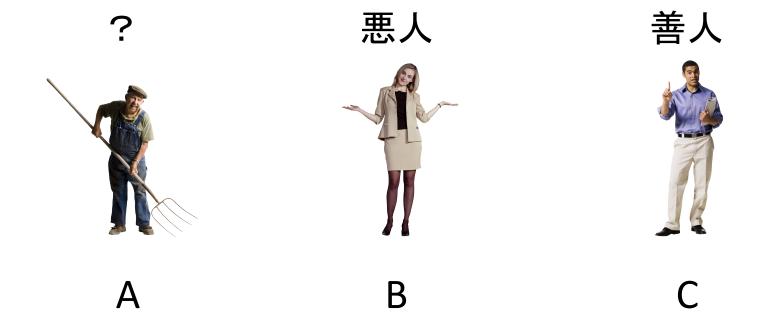


C

## 問題1.1

さて、Cは善人か、それとも悪人か?





# 解答1.1

- USO島の住民は誰も「自分は悪人だ」と言えない
  - 善人ならば、「自分は悪人だ」と嘘をつけないし、
  - 悪人ならば、「自分は悪人だ」と真実を言えないから
- よって、「『自分は悪人だ』とAは言った」というB の発言は嘘だ。
- したがって、Cの言ったことは正しい。
- つまり、B は悪人で、C は善人である。
  - ただし、A が善人か悪人かはわからない。

### 問題1.2

- 私がAに「3人中悪人は何人か?」と尋ねた
- 私はAの答えが聞き取れなかったので、Bに「Aは何と答えたのか」と尋ねた
- Bは「『3人中悪人は2人だ』とAは答えた」と 言った
- すると、C が「B は嘘をついている」と言った
- さて、Cは善人か、それとも悪人か?

## 解答1.2

- Bの発言が本当ならば、Cが嘘をついている
- Bが嘘をついているならば、Cの発言は本当
- したがって、BとCの一方は善人で他方は悪人 (ここまで、実は問題1.1と同じ状況)
- さて、Aが善人ならば、「3人中悪人は2人だ」というAの発言は正しいはずだが、B、Cのうち悪人はただ一人なので、Aが悪人でなければならなくなり、矛盾
- 逆に、Aが悪人ならば、「3人中悪人は2人だ」ということ自体は正しいが、その正しいことを Aが言うはずがない
- 上で、A が善人でも悪人でもないという、ありえない状況を生み出すのは B の発言を正しいと仮定したからだ
- B の発言が嘘だとすれば、このような不条理は生じない
- したがって、Bは悪人で、Cは善人である
  - ただし、A が善人か悪人かはわからない

# 正しい推論を行うために

• 日本語は間違えやすい

記号化、形式化すると間違えにくくなるだろう

#### 記号化

- 「Aは善人である」を G<sub>A</sub> で表す
- •「Aは悪人である」は¬G<sub>A</sub>で表せる
- Aの発言内容「・・・」を Q<sub>△</sub>で表す
- Aが善人であれば G<sub>A</sub>も Q<sub>A</sub>も真となる
- Aが悪人であれば G<sub>4</sub>も Q<sub>4</sub>も偽となる
- すなわち、G<sub>Δ</sub>とQ<sub>Δ</sub>の真偽値は同じである
- これを、G<sub>A</sub> ≡ Q<sub>A</sub> と表す

### 問題1.1の記号化

- $Q_B$ : 「A は『自分は悪人だ』と言った」  $Q_B = (Q_A = \neg G_A)$  ( = は事実、すなわち正しいが、= はまだ怪しい)
- G<sub>A</sub> ≡ Q<sub>A</sub>より、右辺は(G<sub>A</sub> ≡ ¬ G<sub>A</sub>)と同値だが、 この式自体は×、よって、Q<sub>B</sub> ≡ 偽
- ・ G<sub>B</sub> ≡ Q<sub>B</sub>より、G<sub>B</sub> ≡ 偽 (言い換えれば、¬ G<sub>B</sub> が真)

### 問題1.1の記号化

•  $Q_c$ : 「Bは嘘つきだ」=「Bは悪人だ」  $Q_c = -G_B$  (この = は事実、すなわち正しい)

- G<sub>C</sub> = Q<sub>C</sub> より、G<sub>C</sub> = ¬ G<sub>B</sub>
- 結局、¬G<sub>B</sub>が真、かつ、G<sub>C</sub>≡¬G<sub>B</sub>が真となる
  時、G<sub>C</sub>の真偽は如何に? という問題

# 真偽表(真理値表)

<b>G</b> <sub>A</sub>	<b>G</b> <sub>B</sub>	G <sub>c</sub>	¬ G <sub>B</sub>	$G_C \equiv \neg G_B$
		×		
	×			
	×	×		
×				
×		×		
×	×			
×	×	×		

# 真偽表

G <sub>A</sub>	G <sub>B</sub>	G <sub>c</sub>	- G <sub>B</sub>	$G_C \equiv \neg G_B$
			×	
		×	×	
	×			
	×	×		
×			×	
×		×	×	
×	×			
×	×	×		

# 真偽表

<b>G</b> <sub>A</sub>	<b>G</b> <sub>B</sub>	G <sub>C</sub>	¬ G <sub>B</sub>	$G_C \equiv \neg G_B$
			×	×
		×	×	$\rightarrow$
	×			$\rightarrow$
	×	×		×
×			×	×
×		×	×	$\rightarrow$
×	×			$\rightarrow$
×	×	×		×

# 真偽表

<b>G</b> <sub>A</sub>	<b>G</b> <sub>B</sub>	G <sub>c</sub>	¬ G <sub>B</sub>	$G_C \equiv \neg G_B$
			×	×
		×	×	
	×			
	×	×		×
×			×	×
×		×	×	
×	×			
×	×	×		×